

コロナ禍と物価高騰で 生活弱者を支える多角的寄り添い支援

新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援助成

信州子ども食堂

2023年10月～2024年2月

<信州子ども食堂ネットワーク便り> 2023年11月26日 No.1141

バイキングでお腹いっぱい

長野市 信州子ども食堂



10月21日(土)の「信州子ども食堂」は、前月会場が使えず休んだので2ヶ月ぶりの開催。子ども133名含む228名の参加でした。

この所、野菜も値上がり激しく購入をためらうほど。そんな時でも野菜を寄贈くださる農家さんと、寄贈品を毎日せっせと運んでくださる当法人のスタッフのおかげで、たくさんの野菜と物資をお渡しすることができ、参加者の皆さんも笑顔に。

会場では、餃子やパン、麻婆豆腐、焼きそばなどをバイキングで提供。皆さんからは「美味しかった〜」「お腹いっぱい」「会場で食べるの楽しい」との感想。また、調理のボランティアさんは、直接料理の感想や感謝の言葉をもらえてうれしかったそうです。

11月18日(土)は、寒さも急に厳しくなり、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症流行の影響もあってか、いつもより少し参加者が少なく、子ども94名含む145名でした。

子ども食堂を必要とする方がいる限り休む事なく続けて行きたいと思う反面、スタッフの負担は、増すばかり。前日の準備も含めてボランティアさんを大募集しています!!

今月は、野菜がたくさん集まりました。お母さん方は「助かる〜」と両手いっぱいお持ち帰り。子どもたちは、サンエイさんのお菓子釣りや飽すくいを楽しみ、バイキングで納豆巻きや餃子、ヤンニョムチキン、フルーツポンチ、煮物、小松菜ナムルなどの美味しいご飯をお腹いっぱい食べて、笑顔で帰って行きました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

ネットワーキング
便り
で
つな
がる
力



<信州子ども食堂ネットワーク便り> 2024年02月20日 No.1150

過去最高の参加 大盛況で長い列

松本市 信州子ども食堂 in パロー南松本店



1月14日(日)、松本市のパローで開いた「信州子ども食堂 in パロー南松本店」は、参加者234名(うち子ども124名)と、前半・後半とも大賑わいでした。

メニューは、手作りのおはぎとパローパン、豆腐に牛乳、鰹あめ、アイス。お菓子釣りゲームや中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気。「子ども広場」では、高校生らによるカレンダー作りや紙芝居、カルタを子どもたちが楽しんでいました。

2月11日(日)は、過去最高の参加者約380名(うち子ども264名)と、店内に長蛇の列が続きました。

メニューは、手作りのホットケーキとパローパン、豆腐に飲み物。今回は、ピザラレーからのピザ52枚416ピースの寄付もあり大盛り上がりでした。美味しいピザを食べながら、中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気でした。「子ども広場」では、エクセラシオン高校生らによる飛び出すカード作りや紙芝居、カルタを楽しんでいました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

<本部事務所>
松本市寿北5丁目4番28-1
電話 0263-75-8368
<各地域拠点事務所>
長野市三本柳西2-74(にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風19号被災地 長野市上駒沢356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市片丘7900 信州子ども食堂 in しおじり
電話 090-9118-5899
上田市七瀬2885-3 まるこ福祉会
電話 090-5329-1653

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州
E-mail: yff52160@nifty.com <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>
団体の設立 2011年3月30日 法人の設立 2014年4月1日
== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==

無料相談・問い合わせ
0120-914-994



信州子ども食堂ネットワーク便り 目次

2023年10月～2024年 2月

No	市町村	食堂名など	日時・期間
1137	松本市	信州みんなの食堂	10月
1138	松本市	笑和はうす	10月14日・22日
1139	松本市	寄り添い子ども食堂	10月23日
1140	諏訪市	信州子ども食堂inすわ「ちゃんちゃんこ」	10月21日・11月18日
1141	長野市	信州子ども食堂	10月21日・11月18日
1142	富士見町	ひこうせん食堂	10月・11月
1143	長野市	古里子どもカフェ	10月15日・11月12日
1144	松本市	子ども園深志子ども食堂	10月・11月
1145	長野市	こどもと誰でも食堂	-
1146	松本市	信州みんなの食堂	11月
1147	箕輪町	Purみんなの学校	11月
1148	富士見町	こどもの居場所「ひこうせん」	12月
1149	茅野市	コミュ・きっちん天香	12月
1150	松本市	寄り添い子ども食堂	11月27日・12月25日
1151	長野市	信州子ども食堂 お日さま	10月
1152	長野市	信州子ども食堂 お日さま	11月
1154	箕輪町	Purみんなの学校	12月17日・18日
1155	長野市	古里子どもカフェ	12月3日・24日
1156	松本市	信州みんなの食堂	12月
1157	松本市	年越し信州子ども食堂 in 島内	12月30日
1158	松本市	信州子ども食堂inどん八	1月11日・2月8日
1159	松本市	信州子ども食堂inまつもと学び塾	11月25日・12月23日・1月27日
1160	松本市	信州子ども食堂inバロー南松本店	1月14日・2月11日
1161	松本市	寄り添い子ども食堂	1月22日
1162	富士見町	こどもの未来をかんがえる会	1月・2月
1164	松本市	信州みんなの食堂	1月10日・17日・24日・31日
1163	松本市	信州子ども食堂「笑和はうす」	2月10日・25日
1165	小諸市	信州子ども食堂inこもろ	1月27日・2月24日



食欲の秋を満喫 みんなの食堂

松本市 信州みんなの食堂

10月の「信州みんなの食堂」は4回の開催で、参加者は子ども126人を含む197人でした。



4日(水)は、午後4時開催。宿題をやらない子は、カードゲームやお絵かきなど室内遊び。提供していただいた子どもたちが大好きなクッキーはおやつに食べて、食後も食べて、おみやげに持ち帰り。たくさん食べられる幸せを届けてくださり、ありがとうございました。



夕食に出したナシも大好き子がたくさんいて「おかわり！」の声がかみませんでした。お皿を持ってくる子たちで厨房は大忙し。から揚げとごはん、ヤンニョムのおかわりも「食欲の秋」大満喫でした。

11日は午後3時から。児童館の先生が来てくれて、子どもたちといっしょにカードゲーム。「今日を楽しみに来た」という3歳の幼児は、絵合わせゲームで大学生と大盛り上がり。ワイワイ楽しみました。



スタッフから自家栽培の落花生をもらったので、めずらしい茹で落花生とブドウで季節を感じることができました。



18日は手の空いている子といっしょにクッキーケーキ作り。誕生日を迎えた高校生スタッフにサプライズプレゼント。

いつも遊んでもらっている小学生たちもいっしょに楽しい時間を過ごしました。



25日は少し早いハロウィンのプレゼントに、入口でお菓子を1つずつ。

地区の民生委員さんも子どもたちの輪に入ってワイワイ。スタッフが提供してくれたハロウィングッズで子どもたちは大喜び。みんなで楽しめました。

いっしょに盛り上げてくれるスタッフやお母さんたちに感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。





マジック楽しみ いなり寿司作り

松本市 笑和はうす

松本市の10月の「笑和はうす」は、子ども38人と大人32人の70名が参加しました。

10月14日(土)は、「はじめの会」をした後にお勉強タイム。宿題にプリント学習。小さい子は塗り絵にお絵描き。みんな集中して取り組んでいました。おやつは、NPOホットラインからいただいたアイスクリーム。みんな大好き、大きなアイスペロリと幸せな時間でした。参加者は、子ども20人と大人15人が参加しました。



メインは、マジックショー。社協から「スマイルさん」というマジシャンが来てくださり、1時間たっぷりやってくれました。数々のマジックに、大人も子どもも釘付け。身を乗り出して見ていました。「なかなか手品をみる機会がないので、楽しかったです」と大人の方にも大好評でした。



お待ちかねのお昼は、焼きそば、マカロニサラダ、ナスの天ぷら、たこ焼き、餃子、フルーツポンチ、りんご、シャインマスカットと盛りだくさん。おかわりをたくさんして、みんなで美味しく食べました。



10月22日(日)は、子ども18人と大人17人が参加して、「いなり寿司作り」に挑戦。白いご飯をころころ丸めて、いなりを広げて中にぎゅっぎゅっ。お友だちも小さな手で一生懸命作りました。「いなり寿司ってこうやって作るのか!」という声も。一個目、二個目と経験して手つきも上手になりました。フードバンクさんから、たくさんのいなりあげを提供いただき、素敵な体験ができました。



学習時間後は、11月4・5日にある新村地区の文化祭に飾る作品作り。それぞれに自分のイメージで作品を作りあげました。子どもたちの発想力の豊かなこと! 可愛い、カッコいい、立派な作品ができました。



お待ちかねのお昼は、いなり寿司、トッポギ入りスープ、ハンバーグ、レタス、トマト、焼き鳥、みかん。自分で作ったいなり寿司は、美味しいね。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





温かい味噌汁と ハロウィン好評

松本市 寄り添い子ども食堂

10月23日(月)の「寄り添い子ども食堂」は、子ども57人を含む105人が参加しました。

体調不良等でスタッフ、参加者ともにキャンセルもありましたが、無事に開催できました。すっかり日が暮れるのが早くなり、スタート時点で暗くなっていましたが、家族みんな来てくれて賑やかに Rowe れました。



メニューは、焼き肉弁当。
牛肉と玉ねぎの焼き肉に、千切りキャベツとカリフラワー、さらわの西京焼き、パスタサラダ、かぼちゃの煮物、お味噌汁でした。
みんな美味しかったのですが、特に具たくさん味噌汁は好評でした。寒くなると温かいものが欲しくなりますね。



「ハッピーハロウィン」企画のオリジナルクリアケース作りでは、おばけやカボチャのハロウィンのイラストや自分で好きな絵をクリアケースに描いていました。

お菓子のつかみ取りや、お菓子を持ったスタッフに「トリック・オア・トリート!」と言って、お菓子をもらいハロウィンを楽しみました。



おみやげは、農家さんからいただいたお米を約1.5キロずつ袋詰めし、一人一人に渡しました。他にもNPOホットライン信州を通していただいた、さつまいもやお菓子、アイス、ジュース、レトルト食品などたくさんの物資を渡すことができました。

今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがとうございました。





季節を感じる おいしい献立

諏訪市 信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」

10月21日(土)の第86回信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」は、17家庭で子ども27人、大人22人スタッフ17名の合計66名の参加でした。

久しぶりの60名超え。元気なお子さんが多くてとてもにぎやかでした。初参加の方も多くてうれしかったです。

お絵かきをしたり、工作をしたり遊んでいて、大勢集まったところでお菓子を狙った輪投げゲームをしました。



メニューは、秋らしくキノコの炊き込みご飯でした。それに山賊焼き、白菜のお味噌汁、さつまいもとりんごの甘煮ができました。「秋だからキノコのご飯なんだよね」と、子どもの気づきがありました。良く気がついたね。これからもできるだけ季節感のあるものを提供していきたいと考えています。



11月18日(土)第87回は朝方、山はうっすらと雪化粧でした。午後には平地も雪が舞いはじめこの冬いちばんの寒い1日でした。18家庭の参加で、子ども23人、大人20人、スタッフ13名の合計56名。お絵かきやパズル、工作をして食事ができるのを待っていました。



メニューはこの時期にふさわしくトン汁。いろいろな野菜がたっぷり入っていて、とても美味しい。子どもから大人までおかわりの行列ができていて、あっという間になくなってしまいました。3杯食べたという子もいました。

付け合わせはシシャモのフライとテンホウのギョウザ。

白菜と果物のサラダ。子どもには浜さん手作りのカボチャのプリンと新村さん手作りのイチゴの寒天ゼリーが付ききました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





バイキングで お腹いっぱい

長野市 信州子ども食堂

10月21日(土)の「信州子ども食堂」は、前月会場が使えず休みだったので2ヶ月ぶりの開催。子ども133名含む228名の参加でした。



この所、野菜も値上がりが激しく購入をためらうほど。そんな時でも野菜を寄贈くださる農家さんと、寄贈品を毎日せっせと運んでくれている当法人のスタッフのおかげで、たくさんの野菜と物資をお渡しすることができ、参加者の皆さんも笑顔に。



会場では、餃子やパン、麻婆豆腐、焼きそばなどをバイキングで提供。皆さんからは「美味しかった〜」、「お腹いっぱい」、「会場で食べるの楽しい」との感想。また、調理のボランティアさんは、直接料理の感想や感謝の言葉をもらえてうれしかったそうです。

今回、初の試みとして長野県労働金庫の皆さんが、子育て家庭の「マネーセミナー」と「一億円ってどれだけ〜？」とレプリカを持って来てくださいました。今日の参加者の中に将来、本物の一億円を手にする人が出るかも知れませんね。



11月18日(土)は、寒さも急に厳しくなり、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症流行の影響もあってか、いつもより少し参加者が少なく、子ども94名含む145名でした。



子ども食堂を必要とする方がいる限り休む事なく続けて行きたいと思う反面、スタッフの負担は、増すばかり。前日の準備も含めてボランティアさんを大大募集しています!!



今月は、野菜がたくさん集まりました。お母さん方は「助かる〜」と両手いっぱいお持ち帰り。子どもたちは、サンエイさんのお菓子釣りや飴すくいを楽しみ、バイキングで納豆巻きや餃子、ヤンニョムチキン、フルーツポンチ、煮物、小松菜ナムルなどの美味しいご飯をお腹いっぱい食べて、笑顔で帰って行きました。



ひこうせん食堂 おかげ様で1年

富士見町 ひこうせん食堂



こどもの未来をかんがえる会の「ひこうせん食堂」は、1周年を迎えました。食材の寄付や食事づくりの手伝いなど、多くの地域の皆さんに支えられたおかげです。

最初は3人のスタッフで50食を作っていましたが、最近では10人のスタッフで120食を提供しています。子どもだけでなく、ご家族や地域のお年寄りもお見えになり、多世代でにぎやかに食卓を囲んでいます。



10月のこどもの居場所「ひこうせん」の参加者は101人、「ひこうせん食堂」は2回で計220食。11月の「ひこうせん」は103人で、食堂は2回で計252食でした。



日が落ちるのが早い季節は、室内でのボードゲームが人気。みんなで集まってわいわいする生のコミュニケーションが楽しく、子どもたちもはまっています。

10月に「縄文ハロウィンほこ天祭り」に、おもちゃ交換会と子ども服無料のバザーで出店しました。おもちゃをもってこなくてもダーツで的に入れば好きなおもちゃがもらえるということで、こどもたちの行列ができました。

11月7日は地区の民生委員さんと交流会。22日には3人の主任児童委員さんがこどもの居場所と子ども食堂の運営の様子を見学しにられました。町内で複数の子ども食堂が開催できるようにすることを願っています。



月 12/25 16:00-19:30

クリスマス

お好み焼き&パンケーキで放課後ワリワイ

大学生と一緒にお好み焼きとパンケーキを焼きながらクリスマスっぽいことをする日

富士見高校近くの教育振興会館

12月は、公立諏訪東京理科大学の学生の皆さんの協力で、お好み焼きとパンケーキでXmasっぽいイベントをやりま



コンサートで 感動的なひととき

長野市 古里子どもカフェ

10月15日(日)の「古里子どもカフェ」は、あいにくの天気のため、計画していたりんご狩りと焼き芋を中止し、急ぎよ上駒澤集会所を借りて開催しました。参加者は子ども19名を含む41人で、少しずつ新規の参加が増えています。



予定通り、りんご園しみずふあーむの清水さんお手製のピザを振る舞っていただきました。特に、りんごと蜂蜜のピザが絶品でした。

当カフェからは、焼き芋の代わりにスイートポテト、カボチャや山菜の煮物、きゅうりの漬物を用意し、とても心のこもった素敵なランチになりました。



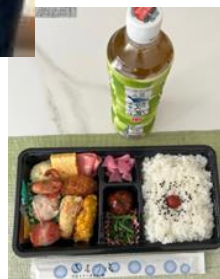
11月12日(日)は、長野市のボランティアセンター・ホールで『ハッピースマイルコンサート』を開きました。昨年に引き続き、ピアニストの中川真由美さんをお招きし、とても感動的なひとときとなりました。参加者は、子ども22人を含む51人でした。

ショパン、モーツァルト、ベートーヴェンの名曲や小さな秋の変奏曲、銀河鉄道999など馴染みのある選曲。後半は弾き語りや、先生直筆で用意してくださった歌詞カードを見ながら全員で歌をうたって楽しみました。

ピアノの美しい音色が、子どもだけでなくお父さん・お母さんやおじいちゃん・おばあちゃんの心を癒し、みんなで声を出して歌を歌うことで、とても元気が出た！との感想をもらいました。



来場記念として、市内に住む80代の女性からご寄付いただいた手編みのアクリルたわしを。また、予約いただいた参加者の方には、『あじまる』さんの手作り弁当と食材などを提供しました。





こども園深志で 初のこども食堂

松本市 こども園深志こども食堂

国のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の中間支援団体となり、認定NPO法人フローレンスの「保育園こども食堂助成事業」を活用し、認定こども園深志でこども食堂を10月と11月に開催しました。

第1回目は10月29日(日)。こども68人を含む120人が参加しました。初めての開催でスタッフも不安と期待の中でしたが、開始と同時に参加者が集まり、用意した120食のお弁当はきれいに終わりました！



参加者はこども食堂に初めて参加する方が多く、「こんないただけるのですか!」「いろいろいただけて助かります」「ほかにこども食堂はありますか?」など、こども食堂を多くの方に知っていただくことができて良かったです。



第2回目は11月19日(日)。1回目より50人ほど多い参加人数で、子ども88人を含む168人が参加しました。前回参加した方が友だちを誘ってくれたり、おいしいちゃんがお孫さんを連れて参加してくれている様子も見受けられました。



開始時間前から順番待ちの列ができ、用意した120個のお弁当は30分足らずで配布終了になってしまいました。これにはスタッフもびっくりでした。



物資をもらったあと、こども達はクイズを解きながら防災対策体験したり、保育園の遊具でお友だちといっしょに楽しそうに遊んだりしていました。

こども食堂が保護者にもこども達にも、来て楽しい居場所だと思ってもらえるとうれしいです。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

信州子ども食堂ネットワーク中南信地域

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



室内飲食も用意 気軽にご予約を

長野市上高田 こどもと誰でも食堂



長野市上高田の宅老所「おいでなして」で月に3回開く「こどもと誰でも食堂」。季節の食材をおいしくいただく“一般家庭の夕食”をイメージして毎回60食ほどお弁当を提供しています。

ご希望に応じて室内での飲食も用意します。ご家族で、お友だちで、誘い合ってご予約ください。汁物を用意します。



姫リンゴとシャインマスカットを添えて彩り豊かなお弁当



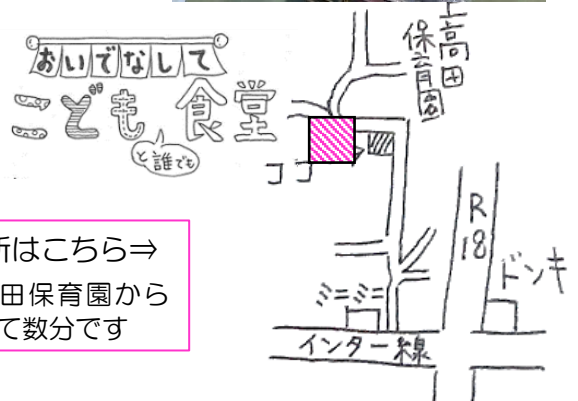
さつまいもご飯にサケの切り身、から揚げ、パスタなど

市内外の方々からいただく季節の野菜や食材をありがたく使いながら、毎回バラエティに富んだお弁当をつくっています。直近にいただいたもので、献立が変わることもあります。

ご希望のメニューなどがありましたらお気軽にスタッフへお声がけください。



あじフライとギョウザ、長〜いウィンナーなど毎回「次はなににしよう?」と献立を考えています



場所はこちら⇒
上高田保育園から歩いて数分です

高橋さんの
レシピ紹介

だいこんの
牛乳漬け



- ・大根 3kg 皮をむいて半割か1/4割
- ・牛乳 200ml (計量カップ1杯)
- ・食酢 200ml (計量カップ1杯)
- ・塩 120g (計量カップ半分)
- ・砂糖 300~700g お好みで

厚手のビニール袋にすべて入れて、空気を抜いてしっかりしぼる。袋のまま冷蔵庫に入れ、たまに上下をひっくり返して、ひと晩でできあがり。砂糖を多くして冷蔵庫で3日ほど寝かせれば「べったら漬け」風になります。

<2024年の開催予定>

- 1月10日(水)、18日(木)、31日(水)
- 2月8日(木)、20日(火)、28日(水)
- 3月5日(火)、13日(水)、29日(金)

16時頃までに予約の電話をお願いします。予約がなくても、ある程度は出せるよう用意していますが、なくなってしまうと、ごめんなさい。次回は早めに予約をお願いします。

ご予約は、090-5426-3764 高橋

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください





体験も楽しみみな 毎週開催の食堂

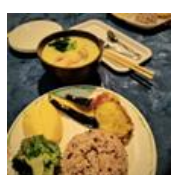
松本市 信州みんなの食堂

「信州みんなの食堂」の11月は、水曜日の夕方6回と日曜日の昼の6回開催し、子ども175人を含む274人が参加しました。



1日(水)は甘柿をおやつに出したところ、「どうやって食べるの?」と、柿とにらめっこしたままの子たち。「どれにしようかな♪」と選ぶ楽しみとともに、自由に食べてもらいました。

細巻きは、巻き方を教わりながら子どもたちが作りました。夕食にはすべて食べきるほど大盛況でした。



8日は寄付で届いたバウムクーヘンをおやつに、宿題に取り組む子どもたち。宿題をしない子には、おかわり用のバウムクーヘンを切り分けてもらいました。



15日は英会話講師の方が食器類を届けてくれました。居合わせた1年生3人は知っている英単語で懸命に話しかけ楽しい時間を過ごしました。メニューは、生トマトたっぷりハヤシライス。3回おかわりした小学生も。さらに、バナナを食べたい子が自分でカット。スタッフやお姉さんたちに見守られ、小学1年生も上手に切れました♪



19日(日曜日)は10時開催。赤い羽根共同募金により普段の活動ではできない体験活動ができました。牛、豚、鶏肉を焼いた後の熾火で焼き芋を作りました。「カルビ初めて食べました!

おいしかったです!」と、スタッフ参加の高校生が嬉しそうな笑顔を見せてくれました。サツマイモはしっとり焼き上がり、心もお腹も大満足でした。



22日は天体望遠鏡で月と星の観察をしました。

長野県地域振興局の職員さんや「こどもの居場所づくり」プラットフォーム関係者など14人が見学に訪れました。地域に住む多くの方々に関心をもっていただけてうれしいです。



29日はクッキーを食べながら宿題やる子や遊ぶ子。食事の前には、絵本を2冊読み聞かせ。配膳には園児が加わり、せっせとお手伝い♪小さい体が頼もしく見えました。「長野ろうきんNPO自動給付システム」助成金で床を修繕しました。足元つまずく危険性がなくなり、安心して過ごせます。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます

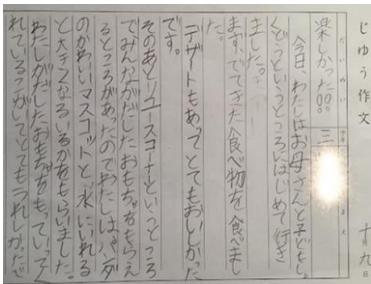




楽しみいっぱい 学校でも話題に

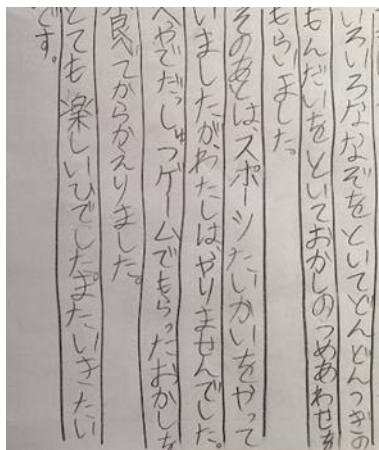
箕輪町 Pur みんなの学校

11月の「Pur みんなの学校」は、6日(月)にパントリーを実施しました。NPO ホットライン信州からいただいたさつまいもで大学芋をつくって配布しました。寒くなってきたのでトッポギとラーメンを入れた鍋もつくり、温かくおいしくいただきました。



リユースルームは、子ども食堂開催時と毎週月曜日 10時～17時にオープンしています。お宝さがしてみたいと、子どもたちからも大人気です。

11月23日(祝)は、子ども食堂。子ども40名、大人30名の総勢70名が参加。綿あめ、お米のひもくじ、トッポギ入りのラーメン、アルファ米のおにぎりも大好評でした。



うれしい写真が届きました。宿題の日記に子ども食堂のことを書いてくれ、学校でも子ども食堂が話題になっているそうです。

キッズフリマを同時開催し、とてもたくさんのご家族が訪れました。射的をしたり、使わなくなったものを売ったりしてSDGsを学びました。



作って食べるを 楽しんだ Xmas

富士見町 こどもの居場所「ひこうせん」

12月20日(水)の「ひこうせん食堂」は、Xmasメニュー。ポテトサラダをケーキに見立てて、人参やハムを、うさぎやハート、☆に型抜きして飾りつけ。子どもたちは「作って 食べる」を楽しみました。



22日の「こどもの居場所」では、型抜きで残った人参やウィンナーを使ってパンケーキをみんなで作りました。子どもたちで考えてウィンナーの串焼きも登場しました。



●こどもの居場所。

ひこうせん 82人

日	曜日	人数	日	曜日	人数
12/1	金	11	15	金	4
4	月	8	18	月	8
6	水	12	20	水	6
8	金	8	22	金	6
11	月	9	25	月	8
13	水	2			

スタッフのべ23名で運営しました。

●えんがわ14人ひこうせん食堂251食

日	曜日	えんがわ	ひこうせん食堂
6	水	10	115
20	水	8	100

スタッフのべ21名で運営しました

12月は学校でもインフルエンザが流行り、学級閉鎖で子どもが2人の日もありました。

ありがとうフードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことを言います。

ひこうせん食堂も諏訪地域振興局から支援物資をいただきました。

ほか、多くの方々からも寄付金や献品をいただき、ありがとうございました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





多くの方々に支えられた居場所

茅野市 コミュ・キッチン天香

毎週木曜日に開く「コミュ・キッチン天香」。12月の参加者は、子ども376人、大人117人の493人の参加者で大賑わいでした。

12月7日のメニューは、ジャーマンポテト、スクランブルエッグ、大根と人参のサラダ、野沢菜漬け。子ども95個と大人34個の計129個。(有)UNさんのシメジ、NPOホットライン信州からいただいたトマトを、皆さんにお持ち帰りいただきました。



14日は毎月定番第2木曜日の餃子。いつものようにテンハウの大石社長が、忙しい合間をぬって餃子を届けてくださいました。



支援者の皆さんに感謝の気持ちを込めて、利用者の皆さんからお礼のメッセージをいただきました。

21日はクリスマスメニュー。

1人あたり3個の卵を使った計算になるオムライス。「卵の味がしっかりしていて、ものすごくおいしかった」とうれしい言葉をいただきました。



ご自分の生活費を切り詰めて、子どもたちにXmasプリンをプレゼントしてくれたおじサンタさん！みんな大喜びでした。

28日、今年の最後は吉野家の牛丼で締めくり。子どもたちにはお菓子セットも渡しました。

入口に利用者さんからの「ありがとう」メッセージ貼り出しました。笑顔の出会いがあり、子どもたちの成長が見られる居場所。今年も、本当に多勢の方々に支えられてやってこられました。本当にありがとうございました。



クリスマス楽しむ年末の食堂

松本市 寄り添い子ども食堂



11月27日(月)の「寄り添い子ども食堂」には、子ども55人を含む115人が参加しました。新しいボランティアさんの参加もあり、にぎやかに開催できました。



メニューは、三色どんぶり、里芋・ゴボウ・大根・人参などたくさんの具を入れた豚汁、サラダ。温かい豚汁はとても美味しかったです。



JA 青年部波田さまからいただいた野菜を活用しました。



<クリスマスカードを作ろう>

画用紙とレースペーパーで作るポップアップカードを作りました。子どもには少し難しかったのですが、スタッフと一緒にがんばって作っていました。できあがりはとても綺麗で大人も一緒に楽しめました。



12月25日(月)は、子ども59人を含む122人が参加。メニューは、(株)イチジウ様からいただいたエビのえびフライハンバーグ、パンプキンスープなど。クリスマスということでロールケーキもつけました。



<クリスマス企画>

ポケモンのとんがり帽子作りとお菓子プレゼント！とんがり帽子は簡単にできて、小さめなサイズなので子どもにぴったりでした。お菓子はクリスマス用のラッピングバックに入れてプレゼント。何が入っているから開けてみてのお楽しみ。



今年も、毎回たくさんの皆様に協力していただき、食事提供、物資配布ができました。本当にありがとうございました。



チョッパーでざくざく みじん切りした 10月 ドライカレー教室

長野市 こどもカフェ お日さま



●10月4日(水)

長野市中条の西條さんからししとうをいただきました。野菜が高騰しているの、お母さんたちからとても喜ばれました。ありがとうございました！



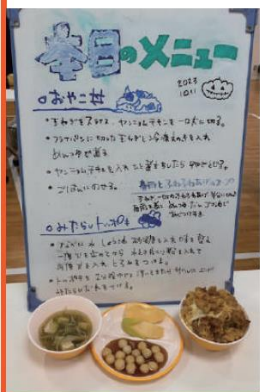
子ども7人、大人10人が参加しました。先生に見てもらい一生懸命宿題を終らせた子は、おなか为空きすぎたようで、炊き込みおこわをモリモリ食べていました。「おいし〜！」と言いながら3回もお替りしていたのでビックリしてしまいました



- 野菜・キムチ焼き餃子
- 炊き込みおこわ
- アイス

●10月11日(水)

子ども7人、大人13人が参加して行われました。子どもには辛かったヤンニョムチキンを親子丼にして出しました。玉ねぎとだしの甘さで辛みがまるやかになり、とてもおいしく食べられました。雪だるま型のトッポキもみたらし団子のようにとっても美味しかったです。



- 親子丼
- 春雨のスープ
- みたらしトッポキ
- うさちゃんりんご

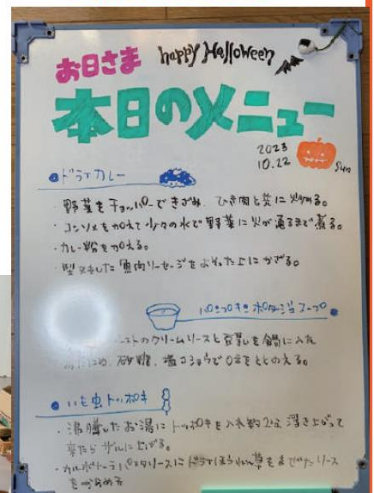


←親子丼の調理のお手伝いをしてきている中学生

●10月22日(日)

秋晴れでとってもお天気が良かった当日、各地で運動会やスポーツイベントなどの催し物が開かれていました。子ども6人、大人4人が参加しましたが、いつもより少ない人数での開催になりました。

HALLOWEEN お料理教室 を開催しました



(株)バローホールディングスさんから野菜などの提供をして頂いたので、子どもたちとチョッパーで野菜を切り刻み、10種の野菜とりんごが入ったドライカレーを作りました。かぼちゃやさつまいもなどの固い食材もあったので、切るのに一苦労している場面もありました。



信州ハム(株)さんよりウインナーの提供をしていただきドライカレーの上に、飾り切りにしたおぼけウインナーを乗せて、カレーをかわいくデコレーションしました。



↑開催日には入口に看板が出ます！

親子でわいわい楽しく 型抜き・デコ クッキー作り

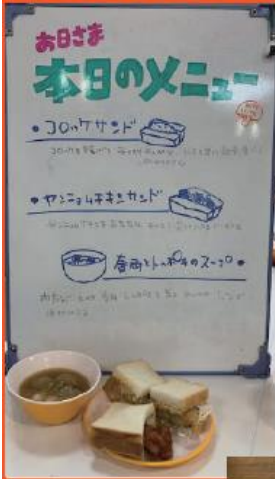
11月

長野市 こどもカフェ お日さま



●11月15日(水)

子ども10人、大人8人が参加しました。



コロケサンドにはサボテン入りのコロケを使用しました。サボテンを食べるのは初めてという人が多かったですが、クセもなくおいしいコロケサンドになりました。

スープに入れたトポキは、もちもちして柔らかく、とってもおいしかったです。



- サンドイッチ (コロケ・ヤニョム)
- 春雨とトポキのスープ



↑大きなお口でサボテン入りコロケサンドをパクリ!

●11月29日(水)

子ども12人、大人6人が参加して行われました。

巷ではインフルエンザが大流行しているため、急遽お弁当スタイルでのお渡しになりました。学校の宿題を先生に見てもらいながら終らせた子は頭を使ったせいかお腹が空きすぎて切なそうな顔をしていました。次回の開始時は皆で食事ができるといいね。



- 生野菜・うさちゃんリング
- かぼちゃコロケ
- レバーのカレーフリッター
- ヤニョムチキン



↑沢山の食材をお渡しが出来ました

●11月5日(日)

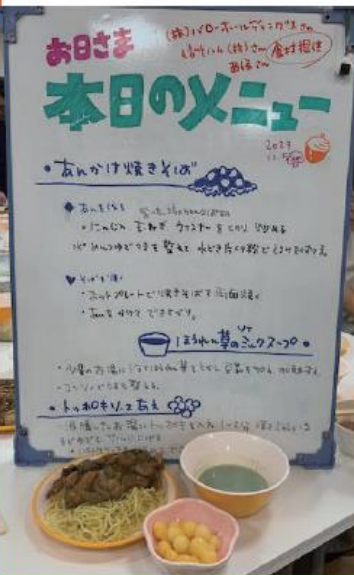
クッキー作り (型抜き・デコレーション) を開催しました

良いお天気で出足が遅かったものの、12時すぎから沢山の人がお集まりいただき、子ども10人、大人10人が参加して行われました。



(株)ホーライさんより提供していただいた生のクッキー生地は、子どもたちが色々な型で楽しそうに抜いていました。

チョコチップとサブレの生地は、前もって焼いておいた物に、チョコペンとアラザンでデコレーションしました。名前やキャラクターが色とりどりに飾られていき、親子のコミュニケーションも抜群でとても楽しい時間でした。



長野市中条の西條さんから野菜の提供をしていただきました。坊ちゃんかぼちゃ・紫芋・野沢菜です。かぼちゃと紫芋はあんかけにも使用させていただきました。甘くてとってもおいしかったです!

- あんかけ焼きそば
- ほうれん草のソイミルクスープ
- トポキパスタソース和え

沢山いただいたのでお家で食べていただく様に配布もしました。

2日間連続開催 でサプライズ

箕輪町 Pur みんなの学校



12月の「Pur みんなの学校」は、17日（日）と18日（月）の連続開催。17日は子ども23名と大人13名の合計36名の参加でした。



パネックス様からいただいたクロワッサンにトマトをはさんでサンドイッチにしました。また、バロー様からいただいた麺でおいしい焼きそばができました。



トマトとりんごジュースは、NPOホットライン信州からいただきました。



18日は、子ども34名と大人20名の合計54名の参加でした。

スターバックスコーヒー様が総勢8名で、バリスタ体験に来てくれました。子どもたちの放課後の居場所開催日で、何も知らない子どもたちをサプライズで招待しました。



地元のテレビ局と新聞記者が取材に来てくれました。

そのあと、クリスマススペシャルディナーを食べました。



毎週月曜日の居場所、おもちゃ図書館、リユースルームも好評で、たくさんの利用者さんがお越しくださいました。ひとり親家庭のフードパントリーも大変喜んでいただき、生理用品、トマト、パン、高野豆腐、卵が配布できました。

楽しく過ごした クリスマス

長野市 古里こどもカフェ



12月3日(日)の「古里こどもカフェ」は、近隣の公共施設「かがやきひろば東北」とのコラボ企画として、クリスマス会を開催しました。子ども31人を含む62人の参加者でした。

ランチには、お弁当、コーンスープ、ミニケーキを用意。



クリスマスツリーの飾り付けから始まり、ガラポン、ピングゲーム、じゃんけん大会、マジックショーと、皆さんの楽しい声が響きました。

別室で行ったフリーマーケットには、施設に通うお年寄りもたくさん立ち寄ってくださり、とても素敵な交流となりました。



12月24日(日)、古里こどもカフェ事務所で冬休みの食材支援を行いました。事前にスタッフで検討し要望のあった物などを購入し、36世帯136人分それぞれの家庭ごと箱詰めしました。



ちょうどクリスマスイブということで、早朝からオードブルを手作りして一緒にお渡ししました。NPOホットライン信州を通じていただいたヤムニョンチキン、キムチ餃子を使い、ほかに照り焼きチキン、フライドポテト、メンチカツ、マカロニポテトサラダ、フルーツなどで飾り盛り込みました。

また、企業からいただいた冷凍チョコチップビスケット生地を焼き、ラズベリージャムをサンドしたスペシャルなクッキーを子どもたちに手渡ししました。

「オードブル、食材の冷凍スープなどで今年はとても素敵なクリスマスイブになり、子どもたちも大喜びしてくれうれしかったです！」と感謝の声がたくさん届きました。スタッフみんなで早朝からがんばった甲斐があり、とても感激しました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





毎週水曜に開催 多世代の交流場

松本市 信州みんなの食堂

12月の「信州みんなの食堂」は毎週水曜日、夕方3回と昼間1回の4回開催し、子ども113人を含む180人が参加しました。

6日は夕方開催。松本大学から寄付されたもち米で餅つき。餅つき機で仕上がった餅は、素早く丸めて黒ゴマときな粉で味付け。おやつや食事で食べました。多くの子がおかわりできて大満足。2升近くあった餅もあっという間に食べきりました。



13日は、安曇野市から読み聞かせボランティアのご夫婦が来てくれて大型絵本を読んでくれました。食事時には学区内の学校長が初来場。子どもたちと同じテーブルで食べたり、食後に宿題を教えてくれたり。「また来てね」と声をかける子もいて、ここが居場所として定着したようです。地元の川魚店から「信州サーモン」と「鯉のあら」を卸売価格で譲ってもらいました。

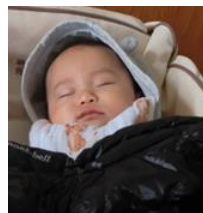
家庭ではなかなか味わうことができない貴重な魚で 松本の川魚文化を伝えました。



20日は、宿題の合間にカップケーキの飾り付け。寄付のキウイ、バナナ、クッキーやイチゴを乗せて冷蔵庫へ。全員でクリスマス気分を味わいました。また、国際サタ松本支部から子どもたち一人ひとりにクリスマスプレゼントが届けられ、どの子も笑顔しながら受け取りました。



27日は昼開催。小学校の終業式を終えて12時過ぎに到着した子どもたち。お腹ペコペコさんたちのために、すぐ配膳に取りかかりました。



この日は開催52回目。これまでに多くの人々からさまざまな寄付をいただき、運営を軌道に乗せることができました。皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。これからも、子どもを中心にした多世代交流の居場所づくりを進めてまいります。





明るく笑顔で 新年を迎えて

松本市 年越し信州子ども食堂 in 島内

12月30日(土)、「年越し信州子ども食堂 in 島内」を松本市島内公民館で開催し、子ども112名を含む約218名が参加しました。「長引くコロナ禍と急激な物価高騰で苦労している子どもと家族が年末年始を明るく笑顔で迎えて欲しい!!」と、本格手打ち年越しそばを提供したのをはじめ、温かうどん・高野豆腐・お米・ドーナツ・たまご・お菓子・野菜・生活用品・生理用品など支援物資を配布しまし



市民タイムス 2023年12月31日(日)

た。

東方そばの会同志会様の「年越しそばの持ち帰り用」と「あったかうどん」などが振る舞われました。

松本市寿北5のNP
O法人ホットライン信
州は30日、同市島内公
民館で「年越し子ども
食堂」を開いた。新型
コロナウイルス禍や物
価高騰の影響を受ける

温かい食事で笑顔に 松本で年越し子ども食堂

「なでしこの会」の中
田優子・木曾部長ら
が8セット約30人分を
届けた。宮木園長は



島内地区の東方そば
の会同志会が打った持
供した。

松本市在住で小学生の
子供2人と一緒に訪れ
た母親は「いろいろな
物をお願いしていただ
いた。生活苦の方々が
厳しい物価高を乗り越
えてくれたら」と願っ
ていた。



エクセラン高校生による綿あめとポップコーンの配布もあって多くの子どもと家族の笑顔があふれていました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



ボリューム満点 おみやげも多数

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん八



1月11日(木)、「信州子ども食堂 in 松本どん八」は、子ども76名を含む132名が参加。メニューは、企業様等からの食材をふんだんに活用したロコモコ丼でした！はやしは様トマト、小松種鶏場様の卵、企業様からのハンバーグやキノコとボリューム満点でした！大原学園様のご協力で、温かい場所での夕飯。「お腹いっぱい！」との声がとても嬉しかったです。



トライ式高等学院生の綿あめやエクセラン高校生による辰の折り紙カレンダーも大人気！真剣に辰を折っている姿がとても微笑ましかったです。「上手にできたよ」と嬉しそうに見せてくれました！

お土産には、アプロ様のお菓子や長野牛乳様の牛乳、はやしや様トマト、小松種鶏場様の卵、お米、玄向寺様のドーナツや野菜などをたくさんいただき、「とても助かります！ありがとうございます！」とお母さんの感謝の声でした。信大生やご協力いただいた



2月8日(木)は、先日に積もった25cmの雪かきからはじまりました。参加者は、子ども75名を含む131名でした。

メニューは、どん八の海鮮丼とキノコのみそ汁、炊き出したいみらい様による肉まん。食べてみてびっくり、ゴロっと大きなお肉が入った肉まんは食べ応えバツグンでした。今回も大原学園様をお借りし、エクセラン高校生によるポップアップカードと食事を楽しみました。



お土産には、ティンカーベル様やアプロ様のお菓子、サヴァンシアフロマージュ&デイリージャポン様のチーズ、農家様からのお野菜、鍋つゆやお米などをたくさんいただきました。

信大生やトライ式高等生などがボランティアに来てくださり、賑やかな子ども食堂になりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。





マスコミも注目 年末年始の取組

長野市 信州子ども食堂 in 松本学び塾

11月25日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本学び塾」は、子ども86名を含む132名が参加。

メニューは、スープ餃子・おにぎり・おやきなど。スタッフは餃子づくりに熱中していました！



公園では、紙芝居やおさがり会、綿あめなど。お菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び。

お母さんたちも、JA様からのお餅やお米、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした！

ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



12月23日(土)は、子ども96名を含む142名が参加。メニューは、お寿司ランチなど5種類のお弁当、パフェ、厚海様の手作りXmasケーキなどでした！

大原学園のロビーを借り、みんなでお腹いっぱいXmasメニューを食べました！



公園では紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様やサンタクロース、トナカイからのXmasプレゼントに子どもたちは大喜び！お母さんたちもJA様からのお餅やお米、食パン、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした！ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



子どもたちへのプレゼントにお菓子を袋詰めする様子が、2023年12月24日の市民タイムスに載りました。



クリスマス用お菓子贈る

松本子ども食堂 大原学園で

NPO法人ホットライン信州が主催する「信州子ども食堂インまつもと学び塾」が23日から提供された菓子を

松本ケン崎高校へアドネーション同好会・AHD30や、大原学園の学生がクリスマス用に袋詰めをして、子供たちにプレゼントした。生徒たちは、スナック菓子を透明なビニール袋に入れ、赤いひもを結んで贈り物にした。同好会は、活動を応援する団体から受けた支援金のうち余剰分をホットライン信州に寄付もした。部長の黒田香椰美さん(17)は「子供たちが喜んでくれたらうれしい」と話していた。

子ども食堂は松本駅前記念公園で開いているが、寒空のため同校ロビーを厚意で借りた。親子が提供された弁当やデザートを食べた。大原学園の学生が準備や片付けを手伝った。(真田尚子)

1月27日(土)は、子ども98名を含む148名が参加。メニューは、牛丼・寿司・玉子・トマトなどの数種類のお弁当。大原学園のロビーを借り、エクセラン高校生による紙コップ工作は、子どもたち楽しさいっぱい。この日は、テレビ信州が取材に訪れた。



公園では、「地震が起きたらどうするか」の紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様のお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び！お母さんたちも、ご寄贈の手提げ袋に、お餅やお米、瓶牛乳・野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした！ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



いつ起きても、おかしくない…地震対策について、子どもたちによる紙芝居と、非常食の実践をしました。



過去最高の参加 大盛況で長い列

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店



1月14日(日)、松本市のバローで開いた「信州子ども食堂 in バロー南松本店」は、参加者234名(うち子ども124名)と、前半・後半とも大賑わいでした。



メニューは、手作りおはぎとバローパン、豆腐に牛乳、綿あめ、アイス。
お菓子釣りゲームや中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気。「こども広場」では、高校生らによるカレンダー作りや紙芝居、カルタを子どもたちが楽しんでいました。



帰りは、お米やトマト、お菓子などの食材を無料配布。「物価高騰の中、とても助かります」と、感謝と喜びの言葉をたくさんいただきました。



2月11日(日)は、過去最高の参加者約380名(うち子ども264名)と、店内に長蛇の列が続きました。



メニューは、手作りホットケーキとバローパン、豆腐に飲み物。今回は、ピザラ様からのピザ52枚416ピースの寄付もあり大盛り上がりでした。美味しいピザを食べながら、中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気でした。



「こども広場」では、エクセラン高校生らによる飛び出すカード作りや紙芝居、カルタを楽しんでいました。



意識を持って 災害に備えを

松本市 寄り添い子ども食堂

1月22日(月)、今年最初の「寄り添い子ども食堂」には、子ども61人を含む116人が参加しました。比較的暖かい1日で、準備中にわか雨が降ったためか、虹を見ることができました！



メニューは、焼き肉弁当と甘くて温かいお汁粉。お弁当は焼き肉、野菜炒め、高野豆腐の煮物、黒豆、春雨サラダと盛りだくさんに、おいしくできました。



「突然の災害にわたしはどうする？」

元日に北陸で大きな地震がありました。災害はいつ訪れるかわからない、ということを変えて考えさせられる年明けでした。各子ども食堂でも災害に備えておく食品やグッズ、豆知識など紹介しています。今回は、保存食のカレーとビスケットの配布、非常用トイレと防災グッズを展示・紹介しました。また、新聞紙で作ることができるスリッパを作りました。実際に履いてみると思った以上にしっかりしていて履きやすかったです。普段から防災意識を持っていることが大切だと思います。



市民タイムス 2024年2月28日(水)

地元子ども食堂に寄付

山辺中学生徒会 缶回収で

松本市の山辺中学校 生徒会は26日、地元の山辺地区で運営されている「多世代寄り添い子ども食堂」に、64個の缶を回収し、35円を寄付した。地



田口さん(左)に寄付金を渡す生徒たち

域貢献を目的に全校でアルミ缶の回収活動に取り組み、換金して得た収益を贈った。いずれも3年生で、前生徒会長の花岡未歩さん、ともに前副会長の倉田直拓さん、横山千穂さんが開催場所を訪れて、子ども食堂代表の田口恵子さんに寄付金を手渡した。花岡さんは「食材の購入に使って下さい」と話し、田口さんは「来月、ちらしうしを作って提供する予定。材料費に使わせて頂くと礼を述べた。生徒たちは子ども食堂の取り組みを全校に伝えるため、生活物資の配布や学習支援などの活動を手伝って体験した。生徒会は3月に、空き缶回収の収益金を市役所を通じて、能登半島地震の被災地に義援金として贈る。

(石川 鮎美)





作って食べるを 楽しんだ Xmas

富士見町 こどもの居場所「ひこうせん」

12月20日(水)の「ひこうせん食堂」は、Xmasメニュー。ポテトサラダをケーキに見立てて、人参やハムを、うさぎやハート、☆に型抜きして飾りつけ。子どもたちは「作って 食べる」を楽しみました。



22日の「こどもの居場所」では、型抜きで残った人参やウィンナーを使ってパンケーキをみんなで作りました。子どもたちで考えてウィンナーの串焼きも登場しました。



●こどもの居場所。

ひこうせん 82人

日	曜日	人数	日	曜日	人数
12/1	金	11	15	金	4
4	月	8	18	月	8
6	水	12	20	水	6
8	金	8	22	金	6
11	月	9	25	月	8
13	水	2			

スタッフのべ23名で運営しました。

●えんがわ14人ひこうせん食堂251食

日	曜日	えんがわ	ひこうせん食堂
6	水	10	115
20	水	8	100

スタッフのべ21名で運営しました

12月は学校でもインフルエンザが流行り、学級閉鎖で子どもが2人の日もありました。

ありがとうフードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことを言います。

ひこうせん食堂も諏訪地域振興局から支援物資をいただきました。

ほか、多くの方々からも寄付金や献品をいただき、ありがとうございました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



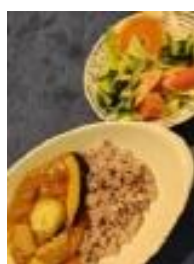
個性も豊かに 心地よい居場所

松本市 信州みんなの食堂



1月の「信州みんなの食堂」は、夕方に4回を開催。子ども151人を含む226人が参加しました。

開所以来、「子どもたちの明るい未来のために」と、さまざまな寄付が届きます。10日は、地域の方が揚げたての「山賊焼き」25人前を届けてくれました。参加者で分け合い、子どもたちも室内に漂う良い香りと味に大満足でした♪



17日は、ペレットストーブで焼き芋作り。外で火の番をする子もいれば、お代わりが止まらない子も(笑) いただいた巨大サツマイモはどれも甘くて、焼き芋には最高でした♪



この場所には小学生を中心に異年齢が集まり、個性もさまざま。ハシャグたい子もいれば、静かに過ごしたい子もいます。静寂を求める子は、大騒ぎする男子が気にならないテーブル席へ。いつの間にか、L型の建物内に住み分けができて上がります。子ども自身が居心地の良さを求めて居場所づくりを始めるとは(笑) こども社会に「共存のカタチ」が見えました。それでも、テーブル席が埋まって他の家族が座れない状況では、すんなり「相席」に応じてくれる、やさしい子たちです♡



24日は、直前に不凍栓が故障するトラブル発生!! 厨房、トイレ、飲用水の供給が止まりました。食器にはラップ、スープカップには紙コップを乗せて食事提供。トイレ前にはバケツの水を置いて、1回使うごとにタンクへ補充。スタッフに余裕はないけれど、参加者たちの様子はいつもと変わらず。「あの子、冷たい水が飲みたいんだって」と、小さい子の様子が気になり教えに来てくれた女の子。


大学生が水を買いにコンビニへ走ってくれました。助け合いの1日でした。



31日は、県外出身で幼い子ども連れのお母さんが集まりました。これからも、小さな子どもやママが安心して過ごせる居場所づくりをめざします。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





調理に勉強に ゲームも楽しい

松本市 笑和はうす

松本市の「笑和はうす」子ども食堂、2月は10日（土）と25日（日）の2回開催。あわせて子ども40名含む72名が参加しました。



10日は、大好評の調理活動。チョコチップクッキーとクリームチーズのコロコロボールを作りました。ホットケーキMIXに、油と牛乳、チョコチップを袋に入れて、こねこねし、好きな形に成形。ハートやうさぎの形にする子もいて、美味しいクッキーが焼き上がりました。



その後も、学習の時間やスクリーンのゲームや体操で楽しい時間が過ごせました。

メニューは、トマトの炊き込みご飯、ツナサラダ、コロケ、ウィンナー、ほうれん草の胡麻和え。デザートには、シャトレゼさんのケーキ。

お土産には、NPO ホットライン信州からのエリゼ、ヤクルト、トマト、野菜、りんご、と盛りだくさん。笑顔いっぱいの笑和はうすでした。

25日は、囲碁ボールやモルック、ボーリング、輪投げを用意。小さい子から大人まで体を動かしました。初めて挑戦する子も多く、ワクワクがとまりませんでした。

勉強時間も、習慣化してきて、みんな真剣に取り組んでいました。



メニューは、カレーピラフ、春雨サラダ、鶏肉のマーマレード焼き、かぶの煮物、ほうれん草炒め、たまごサラダ。地域の農家の大和田さんが、採れたてのかぶとほうれん草をたくさん届けてくれたので、さっそく使いました。

市民タイムス 2月28日(水)

笑和はうすの運営担当
大久保葉月さん (38) 新村

子供たちの居場所 **こんにちは**
所づくりに取り組む「笑和はうす」は新村公民館で活動している。調理体験をしたり、工作をしたりして参加者は和気あいあいと過ごす。昨年末には

子供の居場所つくる
皆であんこやきなこの餅も味わった。楽しさや喜びを伝えてくれる子供の言葉を聞くと、やりがいを感じる。「誰でも来ることが出来る場所にしたい」と思い描く。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





おいしい弁当に 喜びの感想続々

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

1月27日(土)、小諸市相生町の相生会館で89回目の「信州子ども食堂 in こもろ」を開きました。

メニューは、キーマカレー、ポテトサラダ、ツナマヨエッグ、りんごのコンポート、大根漬物です。

11時20分から事前予約をした子ども37人と大人24人、合計61人分のお弁当と野菜の配布を行い、12時には終了しました。



ラインで感想を聞いたところ、「今日も美味しいお弁当ありがとうございました」、「キーマカレーずっと楽しみにしていました、やっぱり美味しかったです」、「大根の漬物、私の大好きな味でとても美味しかったです」、食べたらずな入りで感動、子ども達が全部美味しいと喜んで完食しました、「リンゴ煮は上の子どもが大好きで「もっと食べたい！誰かいらなかったらちょうだい」と言うほどでした」など、たくさんの喜びの声をいただきました。



2月24日(土)は90回目。メニューは、お赤飯、鶏のから揚げ、フライドポテト、玉ねぎちくわの煮物、ほうれん草のおひたし、ヨーグルトのリンゴジャムがけでした。事前予約をした子ども38人と大人26人、合計64人分のお弁当と甘酒、お餅、またダイナムさんがチョコレート入り包みの配布は、12時には終了。



今回、小諸商業高校の生徒さん4人、ダイナムさん3人が参加しました。学習支援の勉強会は小学生3人が参加しました。



参加者から「とても豪華でビックリしました」、「お赤飯は、なかなか家で作れないので嬉しかったです」、「全部が大好きでとても美味しかったです」、「普段、小食の子もいつも楽しみにしていて喜んで食べています」など、たくさんの感想をいただきました。

信州子ども食堂の広がり!!

～県内170ヶ所 約180,000名参加～



信州子ども食堂ネットワーク

なんでも相談  0120-914-994